

2019年度「研究者の横顔」レポート

氏名：品岡玲

1. 研究者になるうとしたきっかけ

リンパ浮腫患者を多く診てきましたが、臨床経験だけでは治療の限界を感じました。基礎研究結果を臨床技術開発につなげます。

2. 助成研究の内容紹介

リンパ浮腫は癌の手術後に手足が腫れる副作用です。命に別状はありませんが、弾性ストッキングなどつらい治療が永続的に続きます。私の研究は画像診断法を確立し、診断に応じた十分な治療法を提案し、患者さんの治療負担軽減を狙います。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

現在はリンパ浮腫になってしまうと、大変な治療をフルセットで行うことが多いですが、画像診断により適切なレベルの治療法を提案できるようになります。無理のない治療は、持続し、浮腫の悪化を防げると確信しております。

4. 全国のRFL関係者に一言メッセージ

癌サバイバーの方が、困っていることをダイレクトに解決する研究です！ご支援ありがとうございます。